



四国森林管理局

徳島森林管理署 とくしま通信

シラクチカズラの生育状況を確認しました

昨年11月、徳島森林管理署と三好市教育委員会と共同して植え付けたシラクチカズラの生育状況を、4月28日に確認しました。現在の高校生が小学生の時に育てた5年生苗のシラクチカズラ12本は、深い雪の時を経て、春の到来とともに薄緑色の新芽を付けました。これまで1,500本植栽し、その殆どが枯れるなどの結果であったことを考えると、今回は明るい結果となりました。徳島森林管理署と三好市教育委員会では、今後の周囲の環境変化とともに、植えたシラクチカズラが確実に生長していくか継続した観測を行い、この箇所がシラクチカズラの生育に適しているか見極めていきます。



緑の回廊のモニタリング調査結果を公表

四国森林管理局、徳島森林管理署では、昨年度実施した「緑の回廊(剣山地区)モニタリング調査」結果を公表しました。緑の回廊内(名頃山国有林)に設置した自動撮影カメラで確認された鳥類・ほ乳類は9科13種で、徳島県の絶滅危惧ⅠA類に指定されているツキノワグマも確認されました。また、個体そのものは確認されなくても、糞などでその生息が確認されたほ乳類も4科5種で、ホンドキツネ、ニホンアナグマなどが確認されました。同じ緑の回廊内の祖谷山国有林に設置した自動撮影カメラなどでも数多くの鳥類・ほ乳類が確認されました。

ツキノワグマの生息範囲調査結果を公表

四国森林管理局、徳島森林管理署では、環境省中国四国地方環境事務所と特定非営利活動法人四国自然史科学研究センターと共同で行った「四国山地におけるツキノワグマ生息範囲調査」の調査結果を公表しました。徳島県内の国有林に設置したセンサーカメラには、成獣が2回、親子グマ(成獣1頭、幼獣2頭)が1回撮影され、うち幼獣2頭は今回新たに確認された子グマです。また、環境省が那賀町の民有林に設置したカメラには、成獣や親子グマが複数回撮影されました。高知県安芸市の民有林に設置したカメラでもツキノワグマが確認されました。今回の調査で2箇所親子グマが確認されたことで、多少なりとも世代交代が起きていることが考えられます。



上(左右)写真：環境省中国四国地方環境事務所提供



四国森林管理局 徳島森林管理署
 TEL:088-637-1230/FAX:088-666-1818
 〒771-0117 徳島県徳島市川内町鶴島239-1

